



命 ひびき合い

学校だより No. 11

令和 3 年 9 月 22 日号

文責 校長 中島 哲徳

『 確かな学力の育成 たくましい身心の育成 豊かな心の育成 』

臨時休校及び3連休 いかがだったでしょうか

金曜日は台風 14 号の接近で急遽、臨時休校ということになりましたが、子どもたちの家庭での過ごし方はいかがだったでしょうか。台風が温帯低気圧になると普通は勢力が衰えるものですが、逆に勢力が増し、大きな被害が出ないかと心配をしていました。県内の小中学校及び県立学校、幼稚園・保育園全てが休みとなりました。

子どもたちは思いもかけず4連休となり、嬉しい毎日だったと思いますが、学校の方は運動会を間近に控え、準備や練習に少しでも時間が欲しかったので、ちょっと困った休みとなってしまいました。とはいえ、子どもたちの安全には代えられませんので、大きな事故や怪我がなく何よりでした。

運動会 結団式を行いました

先週月曜日、1時間目に結団式を行いました。これは、運動会に向けて本格的に練習をスタートすることから、赤組白組の各組が優勝に向けて力を合わせて頑張ろうという、決意を表す式です。この日はあいにくの雨で、予定では運動場で実施するはずでしたが、体育館での結団式でした。

始めに、運動会実行委員の紹介がありました。6年生の横澤純さんと荒川雄輝さん、5年生の鳥里一浩さんと中村煌獅さんの4名です。代表委員会で決まった「北鹿島小オリンピック～みんな楽しく協力しよう～」のスローガンを紹介して、運動会の成功に向けて頑張ることを誓ってくれました。

次に、赤白に分かれてそれぞれ応援リーダーの自己紹介とひと言の挨拶がありました。赤組の団長がト部颯斗さん、副団長が富永瑛心さん、6年生の応援リーダーが橋本暁人さん、中尾茉絢さん、中島葉奈さん、松本愛さん、5年生の応援リーダーが森風丞さん、山口優陽さん、水川新太さん、西ひよりさん、宮崎愛結さん、小池紗加さんの計12名です。対して、白組の応援団長が山口賢士朗さん、副団長が石橋宗土さん、6年生の応援リーダーが大隈泰志さん、原田紗希さん、太田希彩さん、神谷絵美さん、5年生の応援リーダーが向井柊人さん、山口賢透さん、橋本大河さん、中山稟さん、宮崎律希さん、森彩茜さんの計12名です。

例年であれば1年生から6年生まで全員が応援合戦に参加するのですが、コロナウィルスの感染防止対策の一環で、応援リーダーのみの応援合戦となります。ですから、少しでも応援を盛り上げたいとリーダーの数を増やしております。また、練習も全員ではなくて空いた時間を見つけて取り組んでいますので、それだけ応援リーダーは大忙しです。短い練習期間ですが、精一杯取り組んで運動会を盛り上げてくれるものと期待しています。

修学旅行保護者説明会を行いました。その後・・・

9月7日（火）に6年生の保護者対象に、修学旅行の説明会を実施しました。お忙しい中に多数の方に参加していただき、深く感謝申し上げます。短時間でしたが、学校から全体の行程の説明と、新型コロナウイルス感染防止対策、修学旅行を実施するために協力していただきたいこと等の話をしました。



その際、コロナウィルスの感染状況によっては、10月実施予定の修学旅行を12月に再延期することもあるとお伝えしておりました。その決定はキャンセル料発生の関係で、3週間前がタイムリミットということも話していました。

そこで、旅行業者とも再度話し合い、長崎の現在の状況、今後のコロナウィルスの広がりの可能性等を考慮して、12月13日（月）と14日（火）の1泊2日と決定しました。何度も変更をしまして、申し訳ありません。確実な修学旅行の実施ということで、ご了承をお願い致します。尚、他の学年につきましては10月の実施ということでご承知おきください。

教育ボランティアの若い力が

9月6日（月）より佐賀大学の教育学部2年生7名が、北鹿島小学校に教育ボランティアとして1週間やってきました。いずれも将来は小中学校の教員を目指している意欲にあふれた学生で、1クラスに1名ずつ張り付きの形で子どもたちと触れ合ってもらいました。最近では学校の教師という職業が、若い世代の人たちに人気がなく、特に小学校は教員採用試験の倍率が1.5倍を切るという状況で、私たちは歯がゆい思いをしています。

教師という仕事は、子どもたちと触れ合いながら、その成長を手助けできる、やりがいのある仕事だと思っているのですが、それがわかってもらえません。どちらかというとブラックな仕事だというイメージが強く、敬遠されがちです。

しかし、今回来てもらった7人は、将来は教職につきたいとやる気にあふれた学生たちでした。子どもたちも大喜びで、休み時間は外で一緒に走り回ったり、授業中困ったことがあったら手を挙げて質問したり、楽しく学校生活をしていました。

私たちが欲しがっても2度と手に入れることができない「若さ」という大きな武器を持っている学生たちを、うらやましいと思ってしまった1週間でした。日曜日の運動会には、子どもたちの頑張りを応援しに来ると約束していました。

ノーテレビ・ノーゲームデーの取組

先日、9月のノーテレビ・ノーゲームデーの取組結果の報告がありました。毎回、クラスごとに3日間のどこでもいいので、各家庭で家族の対話や読書、トランプやボードゲームなど、一緒に過ごす時間を共有してほしいと、一昨年から取り組みをお願いしております。

当初はその趣旨をご理解いただけなくて、実施できた割合が3割や4割というところでしたが、ここ数カ月は9割を超え、なんと今月は実施率が98%という高い数値でした。保護者の皆様はじめ家族の皆様のご協力に感謝申し上げます。今後とも変わらぬ取組をよろしくお願い致します。

ニュースポーツへの取組

右の写真に写っている物は、何に使うものかわかりでしょうか。これは「バグゴ」というニュースポーツに使うための道具です。先日、第2回学校運営協議会を実施しましたが、その中で北鹿島地区児童民生委員協議会の太田尾会長様からこれを紹介していただきました。

2024年に国民スポーツ大会が佐賀県で開催されることをご存知だと思います。以前は国民体育大会と言っていましたが、1976年に若楠国体が行われてから48年ぶりの開催となります。鹿島市では軟式野球とアーチェリーが正式競技として開催されますが、それ以外にデモンストレーションスポーツとして行われるのがこの「バグゴ」です。

詳しいルールの説明は省きますが、北鹿島小学校ではこれを使って、運動会の低学年のチャンス走を計画しています。どんな結果になるかわかりませんが、子どもたちは楽しみながらチャレンジすることができると思います。市のレクリエーション協会からも3台を借りて、計5台で競技することになります。運動会当日はどうなるか、楽しみにしておいてください。

